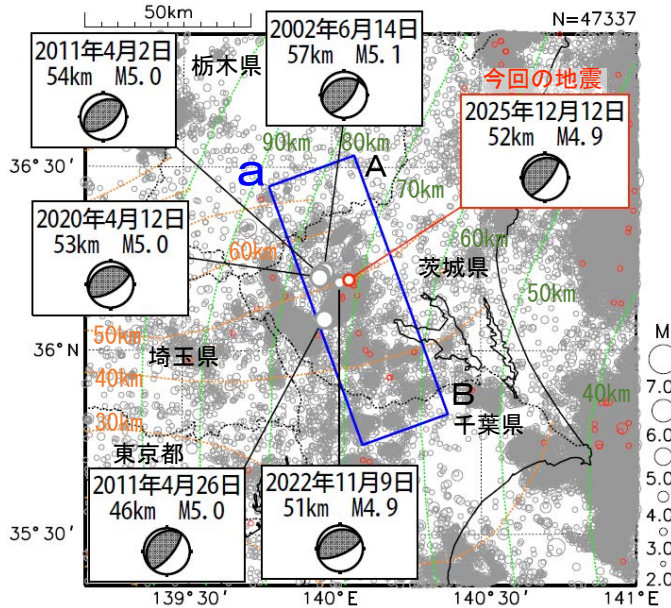


## 12月12日 茨城県南部の地震

震央分布図

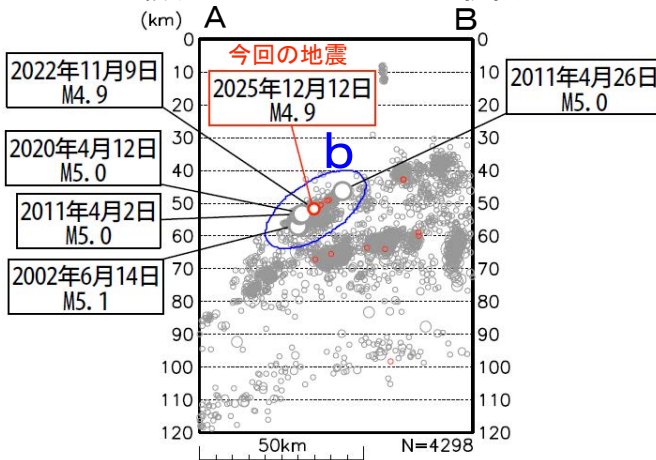
(1997年10月1日～2025年12月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ )

2025年12月の地震を赤色で表示

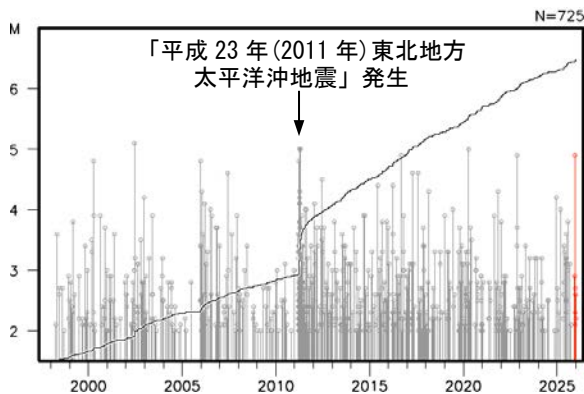


震央分布図中の緑色及び橙色の破線は、それぞれ、弘瀬・他（2008）による太平洋プレート上面及びフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



2025年12月12日19時05分に茨城県南部の深さ52kmでM4.9の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

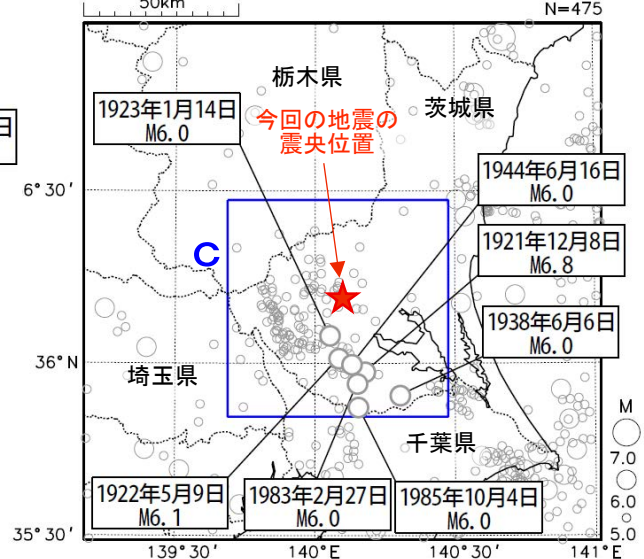
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）は、地震活動が活発な領域であり、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動がより活発になっている。この領域では、2022年11月9日にはM4.9の地震（最大震度5強）が発生し、負傷者1人の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がまれに発生している。1921年12月8日にはM6.8の地震が発生し、土蔵破損や道路の亀裂などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1919年1月1日～2025年12月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )

2025年12月の地震を赤色で表示



領域c内のM－T図

